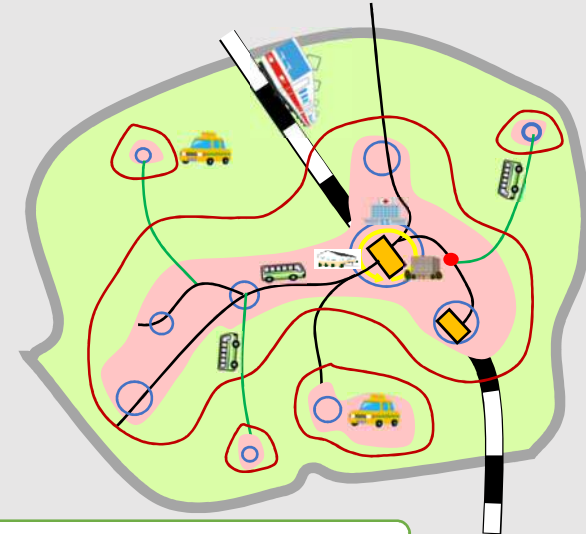


## 1. 立地適正化計画改定の背景・目的

○豊橋市においては、『豊橋市立地適正化計画』を平成30年9月に公表

現状

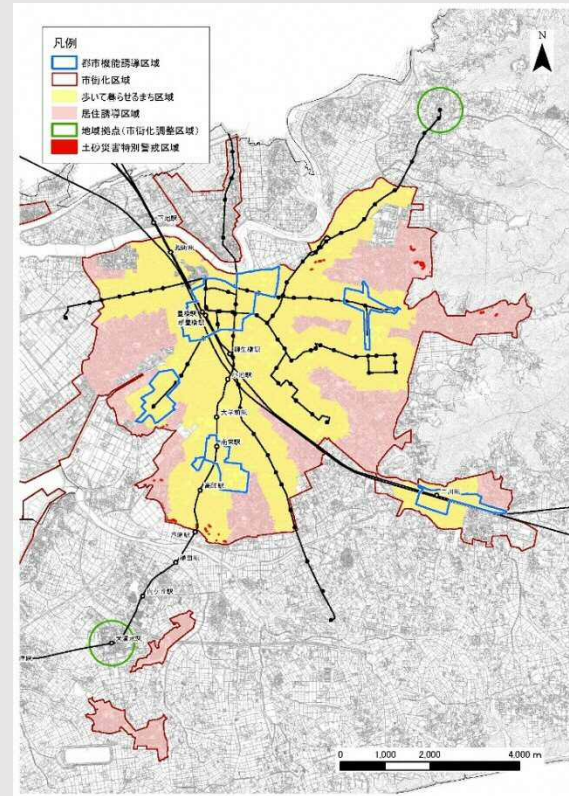
図 立地適正計画のイメージ(国土交通省資料を編集)



コンパクト+ネットワーク

- 凡例
- 立地適正化計画の区域(=都市計画区域(市全域))
  - 居住誘導区域
  - 都市機能誘導区域
  - 市街化区域

図 居住誘導区域及び歩いて暮らせるまち区域(現行計画 P39)



- 頻発・激甚化する自然災害への対応が必要な状況(都市再生特別措置法が改正により防災指針の記載が必要)
- 防災指針は、居住や都市機能の誘導を図る上で必要となる都市の防災に関する機能の確保を図るための指針

<頻発・激甚化する自然災害>



2021年8月冠水した佐賀県武雄市(読売新聞 2021.8.14)



2008年8月柳生川からあふれ浸水した国道259号(朝日新聞 2021.5.25)

図 計画の位置づけ

豊橋市都市計画マスタープラン

豊橋市立地適正化計画

整合

追加 防災指針

<防災指針に関する主な計画>

- ・地域防災計画 ・水防計画 ・地域強靱化計画 ・地震対策(減災)アクションプラン
- ・南海トラフ地震臨時情報に係る防災対応指針 ・津波避難行動指針 等

## 2. 防災指針の検討方針

○防災指針は以下のフローを基本に検討

図 防災指針の検討フロー(立地適正化計画作成の手引き(国土交通省)を参照して作成)

1. 居住誘導区域等における災害リスク分析と防災・減災まちづくりに向けた課題の抽出
2. 防災まちづくりの将来像、取組方針の検討
3. 具体的な取組、スケジュール、目標値の検討

図 災害リスク分析のイメージ

(国土交通省資料「水災害対策とまちづくりの連携」令和2.9.16)

■災害リスクと都市計画情報の重ね合わせ

各種災害リスク情報(洪水の場合)

- ハザードエリアの分布
- 浸水継続時間
- 家屋倒壊等崩壊危険区域
- 外力規模による違い
- ...

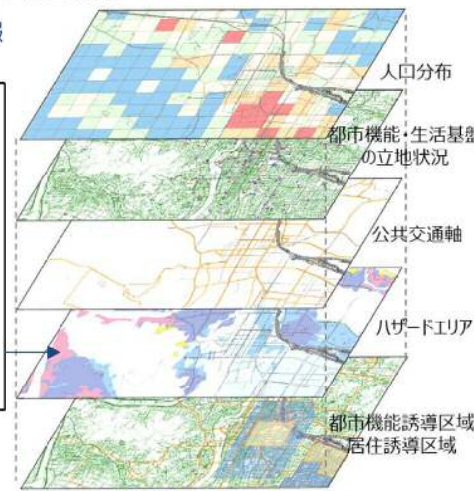


図 豊橋市において想定される主な災害リスクと重ね合わせ情報

災害種別	災害ハザード情報	重ね合わせ情報	
水害	洪水	○洪水浸水想定区域 ○浸水継続時間 ○家屋倒壊等氾濫想定区域 ○浸水実績区域	【基本情報】 ○行政界(市境) ○市街化区域 ○市街化調整区域 ○居住誘導区域 ○鉄道  【都市情報】 ○人口・高齢者 ○将来人口 ○建物・住宅 ○避難所 ○狭あい道路 ○公共施設分布
	津波	○津波浸水想定区域 ○津波到達時間 ○津波災害警戒区域	
	高潮	○高潮浸水想定区域	
	雨水出水	○内水浸水想定区域	
	ため池	○ため池浸水想定区域	
土砂災害	レッドゾーン	○土砂災害特別警戒区域 ○急傾斜地崩壊危険区域	
	イエロゾーン	○土砂災害警戒区域	

図 具体的な取組例(立地適正化計画作成の手引き(国土交通省)から抜粋)

■水災害に対する具体的な取組の記載例

- 災害リスクの回避
- 災害リスクの低減

※破線:は他の主体(国・都道府県等)により実施される対策の方向性

- 都市計画区域
- 市街化区域
- 居住誘導区域
- 都市機能誘導区域
- 洪水浸水想定区域
- 津波浸水想定

※具体的な取組の検討と併せて誘導区域の範囲も検討することが考えられる

